

2021年度派遣留学生 募集要項

2021年度の国際交流協定校への派遣留学生を以下の要領で募集します。

1. 派遣留学期間(学籍上の留学期間であり、実際の出発時期・留学期間は受入大学により異なる)

- (1) 春期派遣:2021年4月から2022年3月までの1年間または2021年8月までの1学期間
 - (2) 秋期派遣:2021年9月から2022年8月までの1年間または2022年3月までの1学期間
- ※ 福祉計画学科生は1学期間の留学はできない。

2. 応募資格

- (1) 学籍:本学に1年以上在籍している学部学生、大学院生
 - ※ 北星学園大学短期大学部からの編入生は、編入した段階で資格を満たすものとする。
- (2) 単位:取得単位数及び累計単位数が、次の条件を満たす者(大学院生を除く。2019年度休学者は2018年度までの単位数)
 - ① 2019年度の取得単位数が30単位以上の者
 - ② 2年次に応募する者は、1年次取得単位数が30単位以上であること。
 - ※ 3、4年次に応募する者は、前年度までの取得単位数が累計でそれぞれ60、90単位以上であること。
- (3) 成績:応募時のGPAが2.3以上であること。
- (4) 語学力:派遣先により以下の条件を満たす者
 - ① アメリカ・カナダ・イギリス・スペイン・スイス・インドネシアへの派遣希望者については、応募時の語学力が定められた基準以上であること。派遣先により派遣基準が異なるので、下の表をよく確認し、応募すること。
 - ※ 応募時に派遣基準を満たしていない場合、春派遣希望者は派遣前年の6月末日、秋派遣希望者は同11月末日までに派遣基準を超えるスコアレコードの原本を提出できなければ、選考対象から除外される。
 - ② 中国、韓国、台湾への派遣希望者は、6か月以上の中国語または韓国語の学習歴(選択外国語の場合は1学期以上)があること。
 - ※ 学習歴は書類で確認できることが必要。外国語科目の検定認定基準を満たす結果をもって学習歴としても良い。
 - ③ イギリスへの派遣希望者は、学内選考とは別にイギリスビザ取得または派遣先の受入基準を満たすためIELTS for UKVIを受験し、定められた基準以上のスコアレコードを提出することが派遣の条件となる(締切:春派遣は派遣前年の7月末日、秋派遣は同12月末日)。スコアの詳細は国際教育課で確認すること。

派遣先	コース	A 英文学科 文学研究科		B 左記以外の 学科・研究科		備考 (現地での学習内容)				
		応募基準	派遣基準	応募基準	派遣基準					
セントラル大、マンチェスター大(米)	学部科目受講	480/54	550/79	430/39	550/79	ESLなし				
セントラルキャン大(英)	学部科目受講 (ダブルイグラー)		520/68			520/68	ESLなし、 ビジネスコミュニケーション			
リージェンツ大(英)	学部科目受講							470/52	ESLなし	
ジュネーブビジネススクール(スイス)			ビジネスフランス語必修							
ミス&グラーク大(米)	ESL/ 学部科目受講		480/54		500/61	430/39	500/61	TOEFL575以上でESL免除		
セントトマス大(加)							500/61	460/48	TOEFL570以上でESL免除	
ブエナビスタ大、ジョニータ大(米)									450/45	TOEFL550以上でESL免除
ブルゴマ大(加)										TOEFL520以上でESL免除
ウイスコンシン大ミルウォーキー校(米)	学部科目受講		480/54		500/61	430/39	460/48	スペイン語必修		
サンパブロ大、ネブラスカ大(スペイン)					490/57		450/45	インドネシア語必修		
マラタクリスタン大(インドネシア)		440/42								
セントラルキャン大(英)	語学研修	490/57								
リージェンツ大(英)	語学研修/									
大連外大(中)、東海大(台)	学部科目受講					語学研修中心				
カトリック大(韓)										

※ 上記の応募及び派遣基準は、TOEFL ITP/TOEFL IBTによるスコア。ESLを設置している北米の各大学については、派遣基準を満たしている場合であっても、指定のTOEFL基準点を満たせなければESL中心の履修になる。

※英語圏に派遣される場合、派遣先の希望を第3希望まで願書に書くことができるが、その最終決定権は大学がもつ。

3. 募集人数(受入大学の事情で変動があるため、目安として考えること。)

派遣期	国	期間	大学名	年間派遣人数	A	B	A・B共通枠	所在地
春期派遣 2021年 1～3月 出発	アメリカ	☆	ブイ・ピク大学	6	5	2	3	アイオワ州 ストームレイク
		☆	マンチェスター大学	1				インディアナ州 ノースマンチェスター
		☆	ジュニア大学	1				ペンシルベニア州 ハンティントン
		☆	ウイスコンシン大学ミルウォーキー校	1				ウイスコンシン州 ミルウォーキー
	イギリス	★	リーゼンツ大学(語学研修)	3	1	1	1	ロンドン
		☆	ネブラスカ大学	(1)				
	中国		大連外国語大学	4			4	遼寧省 大連市
	韓国	☆	カトリック大学校	3			3	京畿道 富川市
	台湾	☆	東海大学	2			2	台中市
インドネシア	☆	マラタ・クリスチャン大学	1			1	バンドン	
秋期派遣 2021年 8～9月 出発	アメリカ	☆	ミス&グレイク大学	10	11	4	5	オレゴン州 ポートランド
		☆	ブイ・ピク大学	6				アイオワ州 ストームレイク
		☆	マンチェスター大学	1				インディアナ州 ノースマンチェスター
		☆	ジュニア大学	1				ペンシルベニア州 ハンティントン
		☆	セント・オヴ大学	1				ミネソタ州 ノースフィールド
		☆	ウイスコンシン大学ミルウォーキー校	1				ウイスコンシン州 ミルウォーキー
	イギリス	☆	リーゼンツ大学(学部)	2	2	1	2	ロンドン
		★	リーゼンツ大学(語学研修)	3				プレストン
	カナダ	☆	セント・トマス大学	10	6	3	1	ニューブランズウィック州 フレデリクトン
		☆	ブルゴマ大学	1				オンタリオ州 スセントマリー
	スペイン	☆	サンパブロ大学	1			1	マドリッド
		☆	ネブラスカ大学	(1)				
	スイス	☆	ジュネーブビジネススクール	2			2	ジュネーブ
	中国		大連外国語大学	3			3	遼寧省 大連市
台湾	☆	東海大学	1			1	台中市	
インドネシア	☆	マラタ・クリスチャン大学	1			1	バンドン	

※ ☆印は、1年間だけでなく1学期間の留学も可能、★印の語学研修は1学期のみの留学

※ 上記区分のAは英文学科・文学研究科、Bは英文学科以外の学科・研究科を指す

4. 応募方法

次の(1)～(6)を応募期間内に国際教育課へ提出すること。

- (1) 派遣留学願書(国際教育課(センター棟1F)にて配付。写真1枚を貼付けること)
- (2) 志望理由書
- (3) 語学能力の証明書(TOEFLスコアや中国語・韓国語の学習歴を証明するもの)
- (4) 健康診断証明書(A館1階の証明書自動発行機を使用し発行すること。半年以内に病院で発行されたものでも構わない)
- (5) 成績表
- (6) 払込取扱票(選考手数料3,000円を証明書自動発行機で納入すると発行される)

5. 選考方法

出願書類、個人面接、学内成績、語学力を総合的に勘案し選考する。

※ 日本語と英語、中国語または韓国語による個人面接により、志望動機・意欲・適性を審査する。

6. 選考日程(面接日程・選考結果の発表はいずれも国際ラウンジの掲示板で行うので、各自で確認すること)

	応募期間(厳守)	面接期間(面接日は後日指定)	結果発表
春期派遣	2020年5月13日(水)～5月19日(火)17:00	2020年5月25日(月)～6月19日(金)	2020年7月下旬
秋期派遣	2020年9月23日(水)～9月29日(火)17:00	2020年10月19日(月)～11月13日(金)	2021年1月上旬

7. 派遣留学期間中の費用

- (1) 授業料は本学に納入すること(派遣先大学の授業料は免除)。
- (2) 食費・寮費、渡航費、保険料などは自己負担(詳しくは「派遣留学の手引き」参照のこと)となる。
- (3) 中国への派遣生は、2名を上限として寮費を免除され、毎月700円の食費補助がある。
- (4) 韓国、台湾への派遣生は、それぞれ年間3名まで標準的な寮費が免除される。
- (5) インドネシアへの派遣生は、年間2名まで寮費が免除され、毎月300万ルピアの奨学金が給付される。

8. その他

- (1) 派遣留学先の選択においては、「派遣留学の手引き」や各大学HP、留学報告書(国際教育課で閲覧可)を参考にすること。
- (2) 各学期に、派遣留学から帰国した学生による「留学報告会」を開催するので、参加を勧める。実施日等の詳細については、国際ラウンジの掲示板を確認、または国際教育課に問合わせること。
- (3) カトリック大学校(韓国)では英語で行われる授業がある(韓国語による科目に振替られる可能性もあり)。
- (4) スペインへの派遣希望者は、出発前にオープンユニバーシティ等でスペイン語の学習をすることを強く推奨する。
- (5) スイスへの派遣希望者は、ジュネーブがフランス語圏であるため、出発前にフランス語を学習することを強く推奨する。
- (6) インドネシアへの派遣希望者は、出発前にインドネシア語を学習することを強く推奨する。